

令和7年度子どもの新たな体験活動の創出と地域の再発見事業（報告）

1 学校名 水戸英宏中学校

2 実施日時 2025年 9月 17日（水） 14:10～15:10

3 参加者数

- ・児童 24名
- ・引率 8名
- ・ボランティア 0名

4 テーマ

水戸一日体験ツアー

5 ねらい

水戸の歴史や文化に触れ、日本文化を学ぶことができる。

6 事業を実施して

- (1) グループ数 4
- (2) 事業所訪問数 4
- (3) 子どもの様子・声
- (4) 成果と課題

◆祇園寺

・初めは緊張した面持ちであったが、座禅のやり方を住職さんより詳しく説明いただき、気持ちを落ち着かせて臨んでいた。

・オーストラリア（海外）の生徒対象だったため、正座に不安があった様子だったが、クッションを使用できたり、住職さんからの優しい声がけがあったりしたお陰で、2回の瞑想を集中して取り組んでいた。

・体験後は、「またやってみたい」や「日本のお寺が見られてよかった」、との声があがった。

◆あづまや

・始めは戸惑いもあったが、次第に慣れて笑顔で楽しむ様子が印象的だった。

◆伊勢屋

・団子づくりと印書のスペースの片づけや洗い物を担当した。お店の授業員の方々と触れ合い、アドバイスを聞いて素直に行う姿が見られた。自分で半ラーメンを作って食べたらどうですかの声にはおなかがいっぱいでは応えられなかった。

◆鈴木茂兵衛商店

・店内の提灯の説明を丁寧にしてくださり、作る工程も見学でき、日本の伝統文化をまじかで見て学ぶことができ喜んでいた。

(5) 成果と課題

◆祇園寺・伊勢屋・鈴木茂兵衛商店

(成果)

- ・今回の座禅体験は海外の方でも参加しやすく、日本の文化を体感できるよい経験となった。外国での「メディテーション（瞑想）」と日本の「座禅」の違いを理解できたのではないかと考える。
- ・受け入れ態勢が整っており、丁寧にとの事業所も受け入れていただけた。
- ・またやってみたいという声がどの班もあがっていた。

(課題)

- ・「座禅」についての英語説明が少し難しく、引率者（通訳者）もある程度の知識や語彙を前もって学習する必要があるあった。
- ・体験時間は前もって事業所と話し合い、1時間半程度にしておく必要があると感じた。

7 活動の様子

